

## 平成29年度 第2回広報・広聴委員会会議報告

**日時** 平成29年8月9日(水) 13:30～17:00  
**場所** 筑波大学東京キャンパス文京校舎  
**出席者** 島田委員長、高木副委員長、宇野、坂口、  
田中、福嶋、藤吉、吉原、原田(事務局)

### ○開会あいさつ (島田委員長)

### ○協議・報告

#### (1) 協議

##### a 神奈川相模原大会の概要について

- ・大会・研修委員会から提供された大会の日程・スケジュール等を確認。
- ・大会当日、各委員に参加行事(特に分科会)での記録写真撮影へのご協力を依頼。

##### b 会報第102号の進捗状況について

- ・6月中旬に各執筆者へ原稿依頼済み。8月中旬原稿締切、9月末日刊行予定。
- ・定兼全史料協会会長依頼原稿は、既に入稿いただいたことを報告。

##### c 会誌『記録と史料』第28号の構成について

###### ○特集テーマ 「ボランティアと歩むアーカイブズ」

- ・第1回委員会では、特集テーマ(案)として

(案1) 「公文書管理のあり方に関して(公文書館法制定30周年)」

(案2) 「地域における史料保存に関するネットワーク」

の2つのテーマが候補として挙げられていたが、(案1)は、全国大会のテーマ「公文書館法30年ー今、問われる公文書管理ー」の内容と重なるため、「地域における史料保存に関するネットワーク」を中心とする特集テーマとすることを議論し、決定した。原稿執筆依頼は以下の4本となった。担当委員を決定し、内諾を得るよう働きかける。

- ・尼崎市の事例
- ・徳島県の事例
- ・新潟県十日町市の事例
- ・大阪エル・ライブラリーの事例

###### ○研究

- ・必要があれば、国立公文書館アーカイブズⅢ修了者に論文執筆を依頼。

###### ○アーキビストの眼

- ・広島県立文書館、沖縄県公文書館より原稿の執筆をいただけるとの内諾を得たことを報告。
- ・今年度の茨城県水戸市での公文書館機能普及セミナーに関する原稿を執筆いただけるか、事務局より調査・研究委員会に確認し、依頼をする。

###### ○世界の窓

- ・現時点で、1本の論考の投稿があることを報告。

○ネットワーク

- ・国立大学法人北海道大学大学文書館公文書室の国立公文書館等指定運営開始、国立大学法人筑波大学アーカイブズの国立公文書館等指定及び開館、京都府立京都学・歴史館の開館、防衛省防衛研究所戦史研究センターのリニューアル移転等について、分担して原稿依頼する。

○書評と紹介

- ・15冊の候補のなかから目次等内容を検討し、6冊の著書について担当委員を決め、書評執筆を依頼することとした。

○資料ふあいる

- ・全史料協からの要望書が今後提出される状況かどうか、会長事務局に確認する。
- ・調査・研究委員会の動向をみながら、調査・研究事業として取りあげられる「災害や災害対応に関するアーカイブズ」関連の現状把握・調査報告について打診する。

○その他

- ・特集の巻頭言と編集後記、奥付については、第3回委員会で執筆者を決定する。9月中旬に原稿依頼を発送予定。  
委員相互の状況報告には、委員会メーリングリストを活用する。

(2) 報 告

a 平成29年度第1回役員会について

- ・概要は、Web 公開されている会議報告を配付。会誌・会報企画検討のなかで参照した。

b 全史料協出版物掲載の著作 PDF 公開の進捗情報・その他

- ・全史料協出版掲載の著作 PDF 公開の進捗状況を報告。
  - ① 昨年同時期 29%→今年度、39.5% (7月25日現在)  
2249 タイトル中 889 のタイトルを全史料協ホームページに掲載済
  - ② 昨年度より、豪雨等による災害地域からの被災状況確認報告の速報に関するホームページ更新の増加
  - ③ J-STAGE への搭載手続きについて報告。  
9月22日までに事前資料提出 (ISSN、JaLCD OI の取得)  
1月に意見交換会・説明会開催 (広報・広聴委員会事務局より出席)  
今後の課題として、会誌掲載論文 (査読対象) の公開時期や掲載対象の許諾 (論文、挨拶、告知文などを同様の扱いにするか否か)、セキュリティー設定について (コピー可、印刷可などの設定) などを検討する必要性があることを報告。

○その他

a 次回開催場所と日時

11月10日(金)12:00~13:20

全国大会開催時 (詳しくは、別途連絡)

b 事務連絡等